

特集

これまでも。これからも。

所沢のおいしい水

～水道通水80周年を迎えて～



蛇口をひねると流れ出るきれいな水。これって、当たり前なことでしょうか？

水の便が悪かった所沢で、人々の願いを乗せ、水道が開通してから80年。皆さんの元にどうやって水道水が届けられるのかを知って、所沢の水をさらにおいしく飲みませんか？

☎上下水道局経営課 ☎ 2921 - 1087

飲んで愛され80年

所沢の水道の歴史

台地で大きな川がない所沢。井戸を作ろうとしても、多くのお金をかけて地面を深く掘らなければなりません。そのため、昔の人々は家ごとに井戸を持ってなかったのです。

遠くの共同井戸まで水をくみに行く苦労の日々。さらには、日照りで井戸

水が枯れてしまうこともありました。

昭和9年、所沢は大干ばつに見舞われ、飲み水の確保さえ難しい状況に。これをきっかけに所沢町の上水道の建設が始まり、昭和12年(1937年)4月、ついに人々が待ち望んでいた水道の給水が始まったのです。

▶所沢初の浄水場
(現在の第一浄水場/宮本町)



◀水道建設工事の様子(上記浄水場内・第一号取水井)

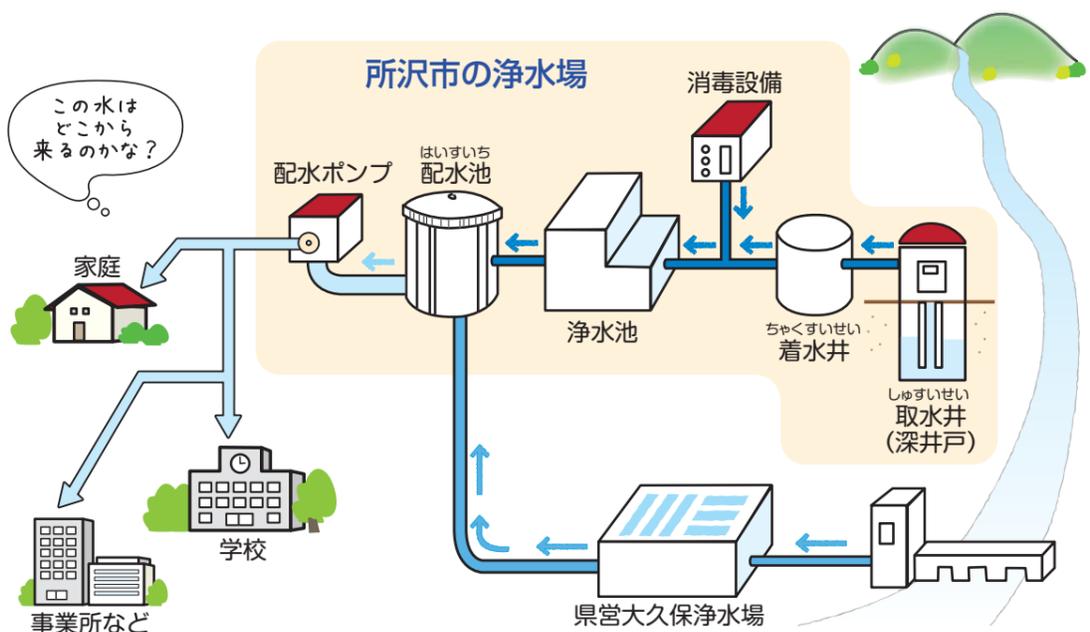
教えて!

水道水が家庭に届くまで

地下水と県水をブレンドしたものを、厳しく検査してお届けしています



▲上下水道局・西久保主任



蛇口をひねるといつでも出てくる水道水。どこから来て、どうやって皆さんのご家庭に届くのか、ご存知ですか？

所沢の水道水は、深さ約300mからくみ上げられる所沢の地下水1割に、9割の県水(埼玉県営水道)をブレンドしています。

県水は、利根川や荒川の上流にある多くの

ダムに蓄えられた水が合流し、県営大久保浄水場(さいたま市)を通って所沢に送られてきます。

その後、消毒・滅菌された所沢の地下水と混ぜ合わされ、厳しい検査を経てご家庭に届くのです。